

町の情報セキュリティについて調査 人的被害防止のため職員の意識改革を

総務常任委員長 筑井あけみ

当委員会は、12月7日
委員会を開催し、総務課
の課題について調査し
た。

調査項目

玉村町情報セキュリティポ
リシー改訂

調査経過

当町では、平成16年に、
町が取り扱う情報資産を適
切に保護することを目的と
して「玉村町情報セキュリ
ティポリシー」を策定し
た。

その後、総務省のガイド
ラインが全面改訂されたこ
とに伴い、平成20年に見直
しを行っている。

今年度は、人的被害を防
ぐための対策として複合機
を導入し、印刷・コピー・
ファックス等のデータ管理
を行っている。すべてサー



セキュリティ保持とレベル向上
のために導入された複合機

バーに記録が残るように
なっているため、漏えい事
故が起きた場合には、原因
究明や次の対策を練るため
の資料とすることができ
る。

導入した目的には、経費
削減を図ることもある。一
括管理を行うことで、紙・
電気・保守点検代が、今ま
での経費の半分となった。
また、職員が「管理されて
いる」と意識を持ったこと
により、無駄を省く姿勢も
見られるようになった。

考 察

全国的な情報漏えい等の
被害は、その9割以上が人
的被害である。セキュリ
ティポリシーを策定しただ
けでは意味がなく、職員の
意識改革が重要であり、研
修や、チェック体制を強化
していく必要がある。

また、情報セキュリティ
が高度化してくると、シス
テムも難易となり、必要な
機器の調達において、町内
業者が太刀打ちできない懸
念がある。

高度化に
対応でき
るよう、町
内業者が
勉強する
機会を設
ける配慮
も必要で
はないか。

町の経済対策と都市建設事業について調査 不況対策実績と幹線道路工事の進捗は

経済建設常任委員長 島田 栄一

当委員会は、12月7
日、経済産業課・都市建
設課の事業について調査
した。

調査項目

- ① 不況対策の実績と今後
- ② 平成21年度幹線道路工
事の進捗状況

調査経過

- ① 平成21年2月に不況対
策室を設置し、さまざま
不況にかかわる相談を受け
付けている。その中から、
雇用創出事業、経営サポ
ー
ト資金保証料補助事業、プ
レミアム商品券発行事業等
を実施して実績を上げる。
- ② 今年度実施している幹
線道路の工事進捗状況につ
いては、(1)齊田・上之手線、
(2)町道102号線、(3)町
道217号線、(4)町道1
06号線、(5)町道224



拡幅が予定されている町道106号線 (玉村高校東側付近)

号線、(6)町道220号線
が工事の対象路線になる
が、一部用地の買収交渉に
時間がかかっている状況で
ある。

考 察

① 不況経済対策の実績と
今後については、プレミア
ム商品券の第2弾の発行及
び経営サポ
ー
ト資金保証料
補助事業の保
証枠の拡大等
を検討してい
きたいとのこ
とであり、努
力を期待す
る。

② 幹線道路
工事における
地権者との用
地交渉には鋭
意努力され、
工事が順調に
進捗すること
を望む。

玉村町における不登校児童の現状と対応を調査 不登校の原因は家庭や友達・環境変化

文教福祉常任委員長 村田 安男

当委員会は、12月8日
委員会を開催し、学校教
育課の当面の課題につい
て調査した。

調査項目

玉村町における不登校児
童・生徒の現状と対応

調査経過

平成20年度中、年間30日
以上欠席している

児童は、小学校3
名、中学校40名であ
る。

県及び全国平均
と比較すると、小学
校は大幅に下回っ
ているが、中学校は
同等な数字となっ
ている。

発生原因は、家庭
や友達の問題が考
えられる。また、外
国籍の生徒の語学



不登校児童への指導を行うふれあい教室

力問題、中学校入学時にお
ける校区の変更、部活動な
どによる環境変化なども考
えられる。

当町では、不登校を防止
するため、次の対策を行っ
ている。

- ① スクールカウンセラー
の配置

平成21年度から1名増員
し、2名で不登校問題など

の生徒指導相談に対応して
いる。

- ② ふれあい教室の設置
学校になじめない子ども
たちが通所し、適応状態に
なり次第、学校に戻してい
る。

- ③ 不登校、生徒指導担当
者会議

小中学校の生徒指導担当
教諭、ふれあい教室指導
員、教育相談室の相談員
スクールカウンセラーな
どで構成し、情報交換や対
応策の協議、指導に当たっ
ている。

考 察

不登校への対応は、義務
教育における最低のセー
フティネットであり、該
当児童の指導については、
十分時間をかけてケアす
る必要があると考える。

新広報委員が議会広報研修会に参加 正確で分かりやすい紙面を目指して

議会広報特別委員長 原 幹雄

10月25日の臨時議会で新
しい議会広報特別委員会メ
ンバー6名が決まり、11月
6日、県町村議長会主催の
議会広報研修会に委員全員

で参加してまいりました。
編集上の留意点などの技
術論とともに、住民と議会
を結ぶ「議会だより」の役
割の大切さなどのお話もあ

り、委員全員で編集の責任
の重さを再認識した次第で
す。

読んでもらえる「議会だ
より」、正確で分かりやす
い「議会だより」を目指し
て努力してまいります。



たまむら議会だよりのバックナンバー

